



なかてっこ

令和4年(2022年)
10月3日 10月号
豊中市立中豊島小学校
校長 三星 美八子



2学期が始まって、1か月！

残暑の中始まった2学期ですが、ようやく、朝夕は過ごしやすい気候となりました。保護者の皆様方には、2学期開始当初から、新型コロナウイルス感染防止対策及び熱中症防止対策等、お子様の健康管理をしっかり行っていただき感謝申し上げます。9月には、宿泊的行事を終えることができました。10月には、音楽発表会を控えています。引き続き、感染防止対策の徹底をとり、少しずつ、日常を取り戻しながら学校行事を進めてまいります。子どもたちの健やかな成長のため、引き続きご理解ご協力のほどお願いいたします。

6年生 修学旅行

9月29日(木)30日(金)の1泊2日で、広島方面に行ってきました。出発前には、全校児童に呼びかけ、平和を願う気持ちをこめて、折り鶴を折るようお願いしていました。朝の会の時間を使い、6年生が丁寧に教えていました。1年生にとっては、折り鶴は難しかったようですが、6年生が優しくわかりやすく指導していました。全校児童に折ってもらった折り鶴は、きれいなリースにして、広島の平和祈念公園に持っていきました。この修学旅行が、今後、平和について、考える機会になるよう職員一同、取り組んでまいります。

出発前:6年生が1年生にやさしく折り方を教えていました。

紙媒体での配布にて
ご確認ください。

紙媒体での配布にて
ご確認ください。

紙媒体での配布にて
ご確認ください。

現地でのセレモニー:平和への願いをこめました。



紙媒体での配布にて
ご確認ください。



※全校児童のみなさんが折ってくれた折り鶴です。

1人1台のタブレット端末の授業での活用

豊中市の小中学校の児童・生徒に1人1台のタブレット端末が貸し出されており、先生方は、タブレット端末の様々な機能を授業の中で使用し、毎日の授業が、子どもたちによりわかりやすく充実したものになるようにと活用しています。

例えば、スクイメニュークラウドシステムを使って、先生から、それぞれの児童にワークシートを送信するという機能です。児童は、先生から送られたワークシートを見て、作業もできます。また、児童が作業をし終わったワークシートを担当の先生に返信するという事もできます。毎日の授業の中で、こういう機能を使いこなしていくことが、今後、重要なことと考えます。

対面での授業の中で、このような機能を使うと、各児童が仕上げたワークシートがその授業中に担任の先生に返信され、先生は、「これは他の児童に是非紹介し、学級全体の考えを深めようという手立てに使いたい。」ということで、大型テレビにその児童のワークシートを写しだすこともできます。子どもたちは、その場で、友だちのいいところを見ることができ、紹介された、子どもも、みんなに紹介されたということで、自尊感情を高めることにつながります。

1人1台のタブレットが導入されたのは、コロナ禍のためではないということは、ご存じの通りです。タブレット端末が導入されることで、一人一人の子どもたちの学習がより充実したものになるようにとコロナ禍以前から、計画されていました。もともと計画されていたことが、コロナ禍になり、導入が早まったということです。ですから、まずは、授業の中で、一人一人の子どもたちが、タブレットの様々な機能を使いこなすことが重要と考えます。そのことが、結果的に、将来、コロナ以外の学級閉鎖や学年閉鎖になった場合にも、役立つことになると思います。このことは、危機管理として重要なことであり、今後も体制を整えていきたいと考えています。現在、3年生から4年生は基本、タブレット端末を、文房具として、毎日、自宅に持ち帰り、学校に持ってきています。1・2年生も、将来的に、タブレット端末を、文房具として毎日自宅に持ち帰り、学校に持ってくるようにしていきたいと考えています。

5年生 林間学舎

5年生は、天候にめぐまれ、9月14日(木)15日(金)と、林間学舎に行きました。滋賀県マキノ方面での体験活動を思う存分楽しむことができました。

出発前、学校の家庭科の時間に、事前の調理の練習をしました。家庭科では、感染防止対策をしっかりと、取り組むことができました。今後も、何事にも自信を持って取り組めるよう、職員一同指導してまいります。

紙媒体での
配布にて
ご確認ください。



※感染防止対策
を徹底し、取り
組みました。

